

改善でストレス減！自分たちが楽しめる農業を

- 屋号・法人名等 上妻みかん園
- 氏名 上妻あかね
- 所在地 周防大島町
- 生産品目 温州みかん、はっさく、レモン、ネーブル
- 就農年 平成 28 年



○経営改善のきっかけ

就農して6年が経過しました。これまでは経営確立に向け、ひたすらみかんと向き合う日々でした。

みかんを出荷するまでの一つ一つの工程に、「ここをこうしたらスムーズだけど」と思うことがありましたが、日々のあわただしさと、めんどくさい気持ちからなかなか実行に移せずにいました。

令和4年度に佐川さんが講師の「女性が働きやすい農林漁業経営体づくりセミナー」に参加して、小さな改善の大切さを学び、実行に移すきっかけを持つことができました。

セミナーに参加した仲間との情報交換の中で、仲間の頑張りを聞き、刺激を受けながら、一つずつ改善に取り組むことができました。

○経営改善の取組内容

①それぞれの収納場所づくり

商品発送までのこまごまとした道具の定位置が決まっていませんでした。

ラックの空いているところに物を置いて、奥にある物が取り出しにくい状態でした。

使用頻度の高いものから作業の効率化を考えながら整理整頓、収納場所づくりを行いました。

作業台も収納棚に変え、ガムテープなどかさばるものも邪魔になることなくストックできるようになりました。



改善前



改善後

②作業靴置き場の設置

作業靴置き場がなく、いつも脱ぎっぱなしで、散らかっていました。

雨の日に足袋が濡れてしまうこともしばしば…。

靴箱を設置するだけで解決するならもっと早くにしておけばよかったです。



③消費者とのコミュニケーション

3年前につくったショップカードを見直しました。栽培を続けるうちにお客様に伝えたいことが変化し、今の私たちの思いを伝えるために作り直すことにしました。

また、マルシェ等に出店し、お客様と接する機会を増やしました。

みかんを栽培している私たちの雰囲気やみかんや農業に対する思いを知ってくださる方が増えてとてもうれしい気持ちです。



マルシェへ出店



ショップカード

○経営改善の取組効果

今までは「まあいっか」や「作業が一段落したらやろう」と思うだけで、行動には移せませんでした。紙に書くことで、タスクに追加され、目をつむっていたことをやるよい機会になりました。今まではたんと作業をこなしていただけだったんだ！と自覚させられました。

○今後の経営改善への取組意向

・日々の中で引っかかっていた小さなことを改善行動に結びつけることで前向きに取り組むことができました。

・今回培われた“改善脳”を目いっぱい活かして、現状に満足することなく常に疑問を持つことで、自分のためにもお客様のためにも作業内容、栽培方法など考えてすすんでいけるように成長していきたいです。

・先のことを考えることはあまり得意ではないが、このような機会に改めて夫と話すことができたことはとても有意義でした。経営の目標、お互いの目標を共有できて、今後もかんばろうと思います。